

日本能率協会は、2015年4月1日より、ドイツ・ハノーバーに世界最大の国際展示会会場を保有するドイツメッセ株式会社の日本におけるセールスパートナーとして、同社が主催する国際展示会への日本企業の出展・来場誘致を行っています。

News
Release



Deutsche Messe

2015年10月8日

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部

CeBIT

世界最大 B to B IT 関連専門展示会

セビット

「CeBIT 2016 (国際情報通信技術見本市)」

2016年3月14日(月)～18日(金)、独・ハノーバーで開催

ディコノミー
トップテーマは「d!conomy: join - create - succeed」

IoT、ビッグデータ、クラウド、セキュリティなどが一堂に会する世界最大のB to BのIT関連専門展示会「CeBIT (セビット) / 国際情報通信技術見本市」は、次回、2016年3月14日(月)～18日(金)に、ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で開催されます。この展示会は、約70カ国・地域から3,300社が出展し、情報通信、ITサービス、製造業、サービス業など幅広い産業分野から22万1,000人が来場する規模を誇っています。

トップテーマは「d!conomy: join - create - succeed」。

「d!conomy (ディコノミー)」は、デジタル化とエコノミーをつなげた造語。2015年にCeBITで提唱されたこの言葉には、デジタル化が経済・社会のあらゆる分野に浸透し、単なる一時的な現象ではなく、継続性があり、長期的に経済・社会のあり方を変革する力を持っているというメッセージが込められています。

次回のCeBIT 2016では、d!conomyをさらに発展させ、業界や企業規模を問わず、デジタル化途上の業種・企業・経営者にも広く呼びかけるという意味で、「join (参加) - create (創造) - succeed (成功)」が掲げられました。

CeBITは、経済や国際社会・政治分野を視野に入れた世界最大BtoB向けIT関連の専門展示会で、世界中の政治家や研究者が、CeBITを新しいアイデアを育て、多くの重要な課題をテーマにディスカッションを行うためのプラットフォームとして活用しています。

展示会とカンファレンスの組み合わせによりCeBITは世界的な視野でデジタル化の現状を把握するため恰好の機会となります。

主催は、ドイツ・ハノーバーを本拠地に世界各地で専門展示会を開催するドイツメッセ株式会社。日本能率協会は、2015年4月より、同社の日本におけるセールスパートナーとして、ハノーバーメッセの日本企業の出展・来場誘致を行っています。

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人日本能率協会 担当：竹生 (たけお)、高間 (たかま)、永谷 (ながたに)

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

TEL: 03-3434-6447 / FAX: 03-3434-8076 / E-Mail: DMS@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室 (TEL: 03-3434-8620、担当：斎藤) へお願いいたします



前回 (CeBIT 2015) の会場。世界からデジタル産業関係者、専門家、政治家らが集結する

CeBIT 2016

セビット（国際情報通信技術見本市）開催概要

会 期：2016年3月14日（月）～18日（金） 各日9:00～18:00

会 場：ハノーバー国際見本市会場（Messegelände, 30521 Hannover, Germany）

主催・運営：ドイツメッセ株式会社（Deutsche Messe AG）

所在地：Messegelände, 30521 Hannover, Germany Tel：+49(0)5 11/89-0

E-mail：info@messe.de ホームページ：www.messe.de

パートナーカントリー：スイス

展示内容：

- ・ビジネスプロセス・アプリケーション
- ・ビジネスセキュリティ
- ・コミュニケーション&ネットワーク
- ・データセンターダイナミクス
- ・デジタルビジネス・ソリューション
- ・ECM、インプット／アウトプットソリューション
- ・IoT(モノのインターネット)
- ・リサーチ&イノベーション



出展料金：4,431.80ユーロ/12㎡～

<<2015年実績>>

CeBIT 2015

会期：2015年3月16日（月）～20日（金）

会場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

■パートナーカントリー：中国

■来場者：約221,000人（約100カ国・地域）

－4割がEU圏外からの来場

－90%が業界関係社

－1500人以上の経営トップが参加

■出展者：3,300社（70カ国・地域）

－55%がドイツ国外からの出展

－350社以上のスタートアップ企業が出展

－日本からの出展：16社（海外現地法人含）

エヌ・ティ・ティ・データ、京セラドキュメントソリューションズ、京セラミタ、コア、
コニカミノルタビジネスソリューションズ、セイコーエプソン、日本コントロールシステム、
日本電気、日本プリメックス、ネットジャパン、パナソニック、PFU、富士通、ブラザー工業、
マウスコンピューター、リコー（50音順）

Deutsche Messe AG（ドイツメッセ株式会社）

ドイツ・ハノーバーを本拠地とするドイツメッセ株式会社は、世界 10 大展示会運営企業 の一社で、世界最大の国際展示会会場を所有・運営しています。

2014 年には世界各地で 134 の専門展示会と国際会議を企画・開催し、その出展企業の総数は 41,000 社、来場者数は計 360 万人にのぼっています。

運営する代表的な専門展示会には、CeBIT（情報通信）、HANNOVER MESSE（産業技術）、BIOTECHNICA（バイオテクノロジー）、CeMAT（インフラロジスティクス）、didacta（教育）、DOMOTEX（フロアカバリング）、INTERSCHUTZ（防災・安全）、LIGNA（木材加工・林業）など。100カ国・地域以上に計 66 の代表事務所、子会社、支店を展開しています。

1. 2016年のトップテーマは「d!conomy: join - create - succeed」

～世界のデジタル化をさらに強化

インスピレーション、インフォメーション、イノベーションを常に発信するイベントに～

CeBIT 2016のトップテーマは、「d!conomy: join - create - succeed」に決定しました。「d!conomy」は、デジタル化とエコノミーをつなげた造語。2015年にCeBITで提唱されたこの言葉には、デジタル化が経済・社会のあらゆる分野に浸透し、単なる一時的な現象ではなく、継続性があり、長期的に経済・社会のあり方を変革する力を持っているというメッセージが込められています。

CeBIT2016は、デジタルビジネスに関する世界で最も重要な専門展示会として、デジタル化のチャンスと課題を浮き彫りにし、対抗意見も採り上げた討論の場を提供します。

同時に開催される「CeBIT Global Conferences (セビット・グローバルカンファレンス)」では、ユーザー側にも焦点を当て、討論会や講演・パネルディスカッションを通じ、著名な産業リーダーによる新しいビジョンやコンセプトを発表します。また“革新的な”ビジネスモデルは11号館の「SCALE 11」と名付けられた区画に集中展示されます。

ドイツメッセの取締役O.フレーゼ (Oliver Frese) の見解

デジタル化は経済や社会のあらゆる分野に浸透し、速いスピードで生活や仕事の仕方を根本的に変えようとしている。CeBIT 2016はこの大きなトレンドをトップテーマに掲げ、“人”つまり“デジタル化の構築者・決定者としての人の役割”を中心に取りあげる。

ドイツメッセはデジタル業界との緊密な意見交換により2015年に生まれた「d!conomy」のコンセプトをさらに発展させることを決定した。デジタル化は経済および社会のあらゆる分野に浸透していて、単なる一時的な現象ではなく継続性のある、長期的に見れば大きなチャンスをもたらすもので、企業を成功に導くにはあらゆる課題に挑戦しアクティブであることが必要である。

欧州最大規模のコンサルティング会社ローランド・ベルガーの調査によると、これまで中小企業の2社に1社しかビジネスのデジタル化を図っておらず、3分の2は自社の状況をまだデジタル化が完成していないと判断しているとの結果が出ている。CeBIT 2016はこの状況をデジタル転換への過渡期と捉え、トップテーマの「d!conomy: join - create - succeed」を通じ、業種の境界を越えてすべての経営者に、またデジタル化の途上にある企業に呼びかける。

デジタル化は、どの産業分野においても既存のバリューチェーンのあらゆる部分に影響を与えている。これに加え、若く動きの速い企業が、デジタル化されたビジネスモデルにより既存の市場を掘り返し、新しい競争相手として台頭を始めている。

デジタル化には経済、企業、行政、社会に活用されるチャンスが多く存在するが、デジタル化時代の初期にはデータ・セキュリティやプライバシーを考慮に入れた広い、そして政治的な基盤の構築が必要になり、新しいビジネスモデルや顧客との関係、経営方式、生産方式、さらにコミュニケーションや労働形態も開発されなければならない。

2. 公式パートナーカントリーはスイス

CeBITは、毎回デジタル化の進んだ国を公式パートナーカントリーとして選出していますが、2016年はスイスがスポットライトを浴びることになりました。

国際的なR&Dの中心で、最も革新的な国の1つと見なされているスイスの企業や研究所が、世界的なノウハウと革新的なソリューションを携え、CeBITに出展参加します。スイスはデジタル化を戦略上最も重要な要素と位置付けている国で、EITO(European Information Technology Observatory)は、スイスのソフトウェアの市場は2015年には5.5%、ITサービスの市場は3.3%成長すると予測しています。

3. 欧州委員会によるヨーロッパ・ハイレベル・カンファレンスを開催

欧州委員会は、「ヨーロッパ単一デジタル市場戦略」を作成し「欧州デジタル・アジェンダ」の一部に採択しました。「単一デジタル市場戦略」は、EU28 カ国の市場バリアを取り去り、統合された一つの市場を実現させ、ヨーロッパ大陸をカバーする通信網、国境を越えたサービスの実行、スタートアップ企業の促進を目標にしたプロジェクトです。

このたび、欧州委員会デジタル経済・社会担当委員の G.H.エッティンガー（Günther H. Oettinger）は、ヨーロッパ・ハイレベル・カンファレンスを次回の CeBIT から毎年開催することを決定しました。ハイレベル・カンファレンスには政府やビジネス界の代表者が参加し、EU が最も重視している戦略の進捗状況について協議します。「CeBIT Global Conferences（セビット・グローバルカンファレンス）」の一部として会期の第 1 日目に開催され、議題はインフラのアップグレードと拡張、標準化、セキュリティ、スタートアップとなっています。

4. 急速に進むデジタル化が追い風に、企業の出展意欲高まる

近年、デジタル化の波は地球規模ですべてのビジネス分野や社会に影響を及ぼしており、デジタル製品やシステムそれにソリューションへの投資は巨大な額にのぼっています。今やどの分野においてもデジタル化に遅れを取らないための投資は緊急事項で、この傾向はますます進むものと予測されています。

こうした背景を受け、2015 年 3 月に開催した CeBIT 2015 は 2014 年に比べ、出展企業数や展示スペースで 6%増加。特にエンタープライズコンテンツ管理（ECM）、統合基幹業務システム（ERP）、ビジネスセキュリティ、コミュニケーション、および人材マネジメント（HR）など、デジタル化の核となる業種の出展企業の満足度が高いという結果がでています。前回（CeBIT 2015）に出展した多くの企業からは、CeBIT 2016 の出展をすでに決定したという声が寄せられています。

近年の日本勢の動向をみると、2014 年には京セラが再出展し、2015 年にはコニカミノルタが共同出展（過去 9 年間）から独自に出展ブースを設けました。2016 年には展示のみではなく、代表執行役社長の山名昌衛氏が「CeBIT Global Conferences（セビット・グローバルカンファレンス）」で講演する予定です。

CeBIT では、商業、工業、行政、社会全体に焦点を当てた BtoB に特化した展示会という特徴を活かし、世界的な視野でデジタル化の現状を把握するための豊富な情報を提供しています。数多くのカンファレンスや講演会、フォーラムが、デジタル化とマクロ経済、社会政治学的な案件を扱い、展示会の効果を高めます。

5. CeBIT Global Conferences に著名な講演者

展示と同時開催される「CeBIT Global Conferences（セビット・グローバルカンファレンス）」の開催期間は、次回から 4 日間に延長され、3 つの発表ステージが設置されます。メインテーマとして「d!conomy」「Internet of Everything」「セキュリティとプライバシー」「革新的技術」が扱われ、欧州委員会デジタル経済・社会担当委員の G.H.エッティンガー氏をはじめ、デジタル産業のリーダーとして C.フレドリクソン氏（Christian Fredrikson/F-Secure 社 CEO）、山名昌衛氏（コニカミノルタ 代表執行役社長）、Dr.A-W.シェール氏（Dr. August-Wilhelm Scheer/Scheer グループ CEO）の講演が決定しています。

6. スタートアップのプレゼンテーション～「SCALE 11」に集結

CeBIT 2016 の他の注目事項として、若い企業家たちの潜在能力と業績の発表があげられます。11 号館の「SCALE 11」と名付けられた区画には世界中から 350 を超すスタートアップと若い企業が出展し、それぞれのアイデアと革新的ビジネスモデルを披露します。

以上